

教育及び保育計画

飯舘村立までのいの里のこども園

1 教育目標

「よりよい未来を自分たちの力で創ることができる子ども」

(知) じっくり遊ぶ子ども

- 身近な環境に主体的に関わり、物の性質や数量、文字などに対する感覚を磨き、生活に取り入れる基礎を育む。
- 多様な感動体験や経験を生かし、言葉による伝え合いや表現力を育む。

(徳) 思いやりのある子ども

- 豊かな体験や多様な活動を通して、相手の気持ちを考え思いやる心、感謝する心を育む。
- 一人一人を生かした集団生活を通して自立心を育て、人と関わる力・規範意識を育む。

(体) 元気で明るい子ども

- 安心してのびのびと体を動かそうとする気持ちを育む。
- 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しを持って行動する力を育む。

2 教育・保育方針

- 認定こども園の理念と構想に基づき、園児、保護者、地域の思いや期待、信頼に応える教育・保育を具現する。
- 0歳児から5歳児までの系統性と連続性を考慮した教育課程を編成する。
- 園内・学校等との異年齢交流における豊かな関わりや様々な自然体験活動を通して、学校への円滑な接続等を図る。
- 地域に開かれたこども園の役割を担うとともに、子育て支援の拠点としての役割を果たす。

3 年齢に応じた教育・保育目標

- 【0歳児】 保育教諭と応答的な関わりの中で、信頼関係を築き安心して過ごす。
- 【1歳児】 保育教諭の応答的な関わりや話しかけにより、言葉を使うことや身の回りのことを自分でしようとする。
- 【2歳児】 安心できる保育教諭の下、食事、排泄、着替えなど簡単な身の回りの活動を自分でしようとする。
- 【3歳児】 友達と一緒に活動する楽しさや喜びを知り、自分を伸び伸びと表現して遊ぶ。
- 【4歳児】 友達と関わる中で、様々な活動を通して多様な感情体験を味わい、友達との関わりを深める。
- 【5歳児】 自分でしなければならないことを自覚し、友達と一緒に遊びや生活に充実感を味わいながら、しなやかで自立した生活を送る。